

大学等名：八戸工業大学

テーマ：テーマⅡ（学修成果の可視化）

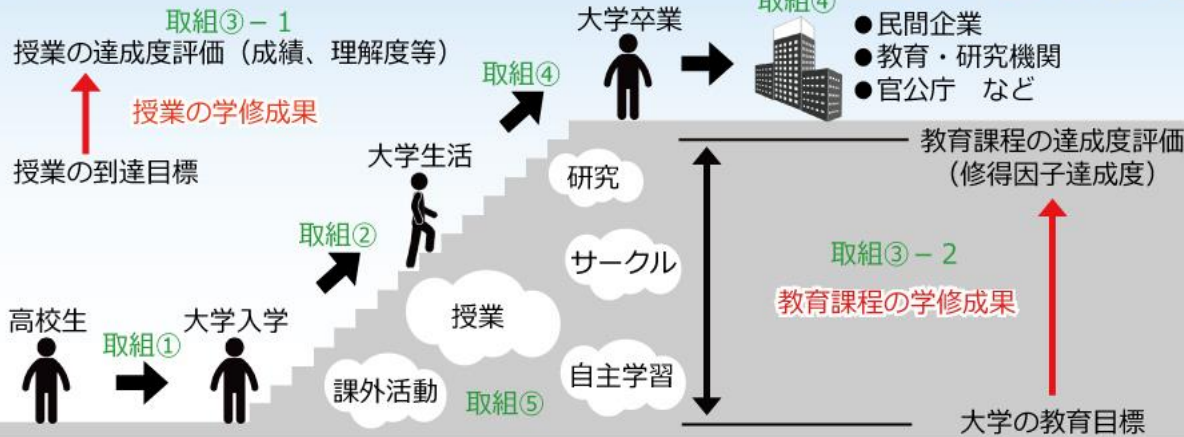
本学の建学精神は「正己以格物」であり、教育理念は「良き技術は、良き人格から生まれる」である。これらを具現化するために全学の使命・目的が制定され、さらに学部・学科ごとに人材養成目的として具体化されている。日本技術者教育認定機構(JABEE)による認定活動（工学部全学科に認定コース有）への全学的な取り組みにより、工学部各学科は学生が卒業時点までに身に付けるべき具体的な能力（アウトカムズ）を学習・教育の目標として定め、感性デザイン学部においてもこの制度に準じて全学的な教育の改善・改革を進めている。

将来計画委員会において、今後の学部学科再編の指針が示され、今後は地域の意見を踏まえつつ、グローバルな教育の構築も加速しなければならない。このことから、教育課程の体系化、学生自らが自身の学習目標の設定・達成度評価を行うシステムを構築しつつ、良き職業人の育成を目的とした教育体制を構築する。

学修の過程の振り返りを支援する達成度評価の確立と可視化

■ 高大接続改革推進事業 ■

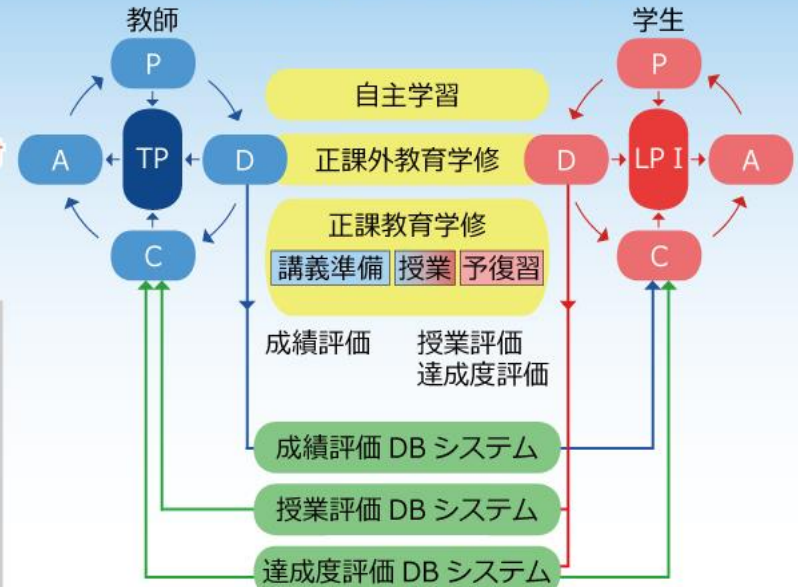
- 取組①：高大接続教育の推進
- 取組②：自主的学修活動の推進
- 取組③：学びの過程における達成度評価システムの確立
- 取組④：キャリア教育の徹底における良き職業人の育成
- 取組⑤：高大接続改革における質保証の推進



社会において求められる人材

- 民間企業
- 教育・研究機関
- 官公庁 など

学修成果の可視化に関わる二重の取組



P: Plan (計画) D: Do (実行) C: Check (評価) A: Act (改善)
 LP I:ラーニング・ポートフォリオ I TP:ティーチング・ポートフォリオ
 DB:データベース

事業の成果

指標例	平成26年度 (実績値)	平成28年度 (実績値)	平成31年度 (目標値)
学修行動調査の実施率 (%)	79.7%	85.4%	100%
学修到達度調査の実施率 (%)	11.3%	83.7%	90%
学生の授業外学修時間 (週/時間)	9.4時間	18.1時間	21時間



全学的に教育の実質化を図り、国際水準の学士力を有する職業人を育成する。